

～サッカーのみかた～8月号

第4回目～サッカーのみかた～を開催しました。

～サッカーのみかた（見方？味方？）～はサッカーをもっと楽しむと同時に審判に興味を持っていただこうと思い協議規則や審判の思い等の話す場として開催しております。

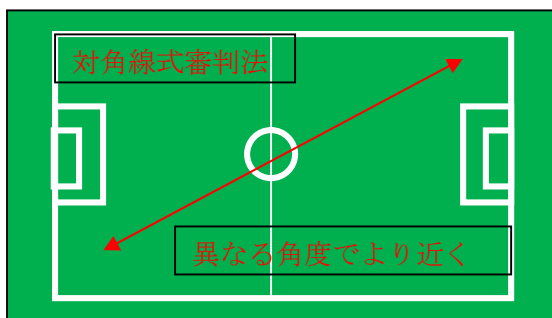
4回目は3級上申希望者の方を中心に16名の方に参加いただきました。



《初めに》

現役高校生が審判研修に参加しました。今回道協会の初めての試みとして高校生を対象に8月5日～7日士別市で研修を行い室蘭からも1名参加していただきました。他地区の高校生の審判意識の高さに驚くとともに、試合では選手にぶつかりそうになった事や最後のレポートが大変だったと感想を語ってくれました

今回のテーマは全回の「3級上申に向けて」と先日行われた「社会人リーグ実技研修会の反省」です。実際の映像を見てボールや選手及び副審との距離やポジショニングについて、なぜこの位置が適切なのか参加者と議論しました。



「3級上申に向けて」では対角線式審判法を中心にFK・CK等のポジショニングの確認やヘディングでの競り合いのポイントを講義しました。対角線式審判法は①主審・副審が挟んで異なる角度から見れる②3人の内誰かが比較的近くで監視することができる③余力をもってできる等の利点があります。

また、ヘディングでの競り合いではどちらが先に落下点に入っているかに注意してみましょう。

《あとがき》

3級上申講習会報告については後日行いたいと考えております。参加していただいた皆さん、また、各チーム関係者・選手の方もご協力ありがとうございました。残念ながら時間が押してしまい今回はゲームができませんでした。次回は必ず最後はゲームで終了したいと思います。

《お知らせ》

次回は9月26日（木）19時 ダンパラ研修施設で開催いたします。場所等詳細は室蘭地区サッカー協会HPに掲載しますので確認してください。